

令和5年度 第5回理事会の開催

令和5年度 第5回理事会が令和5年12月15日、日本獣医師会会議室において開催された。本理事会では、決議事項として2議案について諮られ、承認された。連絡事項として当面の主要会議等の開催計画に関する件の説明がなされた。第5回理事会の議事概要は下記のとおりである。

令和5年度 第5回理事会の議事概要

I 日時：令和5年12月15日(金) 14:00～17:30

II 場所：日本獣医師会・会議室

III 出席者：

【会長】 藏内勇夫

【副会長】 砂原和文、鳥海 弘、栗本まさ子

【専務理事】 境 政人

【地区理事】 田村 豊（北海道地区）

小山田富弥（東北地区）

宇佐美 晃（関東地区）

上野弘道（東京地区）

山田有仁（中部地区）

西山治生（近畿地区）

高島一昭（中国地区）

戒能 豪（四国地区）

草場治雄（九州地区）

【職域理事】 佐藤れえ子（学術・教育）

立川文雄（産業動物臨床）

森 尚志（小動物臨床）

横尾 彰（家畜共済）

加地祥文（公衆衛生）

佐伯 潤（動物福祉・愛護）

【監事】 市川陽一朗、佐々木一弥、柴山隆史

【顧問】 村中志朗

【欠席】 片岡辰一朗（家畜防疫・衛生）

酒井健夫（顧問）

IV 議事：

【決議事項】

第1号議案 諸規程の一部改正等に関する件

第2号議案 賛助会員入会に関する件

【説明・報告事項】

1 中間監査結果の報告に関する件

2 販売用犬猫に対するマイクロチップの装着・登録に関する件

3 政策提言活動等に関する件

4 日本獣医師会ワンヘルスセミナーの開催に関する件

5 特別委員会及び部会委員会に関する件

6 アジア大洋州医師会連合（CMAAO）とアジア獣医

師会連合（FAVA）におけるMOUの締結に関する件

7 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

8 その他

【その他の報告・連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

3 その他

V 会議概要

【開 会】

事務局から定款第41条に規定された定足数を満たし、本理事会が成立することが報告され、開会した。

【会長挨拶】

1 冒頭、藏内会長から、大要以下の挨拶がなされた。

「12月になり、大変お忙しい中にもかかわらず、令和5年度第5回日本獣医師会理事会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

先日行われました第41回獣医学術学会年次大会につきましては、新型コロナウイルス感染症もようやく収束に向かう中で、今月1日から3日間、神戸国際会議場にて開催することができました。740名の登録、全体で1,100名の参加を得、盛会に行うことができましたが、いろいろ反省すべき点もございまして、今後、改善を図っていきたく考えております。

大会では、日本医師会との連携による、恒例の市民公開シンポジウム、「私たちの身近にせまる感染症」をはじめとするワンヘルスをテーマとした特別企画を提供して、獣医学術の発展向上に大きな成果を得ることができたと思っております。

2日目の歓迎交流会では、盛山文部科学大臣、久元神戸市長にご臨席をいただき、祝辞を賜りました。また、自由民主党ワンヘルス推進議員連盟の林 芳正会長からビデオメッセージ、連盟の最高顧問であります麻生太郎副総裁からは祝電をいただくことができました。

本大会の開催運営にご尽力いただいた本会学会の先生方、ご支援をいただきました神戸市獣医師会の中島会長はじめ、関係省庁、関係大学、協賛企業の皆様方に心から感謝を申し上げる次第です。

一方、新型コロナウイルスの流行によって、私どもが提唱してきましたワンヘルスの実践活動の重要性が

より広く理解されるようになりました。私は、FAVAの会長として、これらの取組を推進する中で、われわれ獣医師は、国内はもとより、地球規模での広範な視点をもって、医師や環境の専門家とともにワンヘルス活動の中心的な役割を担い、さらなる社会貢献に尽力する必要があるという考えに至りました。

このようなことから、すでに10月24日に皆様に文書でお知らせしたとおり、業務運営幹部会において全員一致でご推挙いただき、2024年度の世界獣医師会次期会長選挙に立候補することを決意したところで、皆様方のご支援、また今後のご協力を心からお願いを申し上げる次第です。

昨年6月に施行されました、販売用犬猫のマイクロチップの登録制度につきましては、いよいよ法改正が間近に迫ってまいりました。ただ、政治資金の問題で国会の開催で法案の審議が危惧され、非常に心配をしておりますが、今、精力的に国会議員の先生あるいは環境省を中心とした役所との交渉を行っております。今朝も自民党の環境部会長に就任されました中田 宏参議院議員が本会にお見えになり、環境省との意見交換等についてご報告をいただいたところです。

こういったわれわれの活動を受けまして、今月7日に開催された、環境省との円卓会議において、ようやく本会の提案に具体的な回答がなされました。このことについては、後ほど、議事の中で報告をさせていただきたいと思っております。

今後とも、本会が地方獣医師会と密に連携し、国民に貢献できる制度に改正するとともに、地方獣医師会、会員構成獣医師にとって有用な事業となることができるよう取り組んでまいりたいと思っております。

今日の理事会は本年最後の会議でございまして、皆様方には山積する課題解決に向け、忌憚のないご意見をお寄せいただき、本会の適正な事業運営に努めたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。」

【決議事項】

第1号議案 諸規程の一部改正等に関する件

旅費規程に定める宿泊費の額について実勢価格に合わせるよう改定すること、及び「日本獣医師会職員就業規則」及び「日本獣医師会嘱託職員等就業規則」について、押印や自筆を求める旨規定されている項目について、デジタル化に対応する改定を行うことについて、境専務理事から資料に基づき説明された。

監事から、今回の改正に合わせて日本獣医師会職員就業規則第14条と日本獣医師会嘱託職員就業規則の第15条について記載の平仄を合わせることが提案され、修正することとされ異議なく了承された。

続いて、「公益社団法人 日本獣医師会 危機管理室 設置要綱」の制定について境専務理事から説明され、監事から条文の構成と内容について、(目的)の項目には、設置要綱を定める目的を記載し、(設置)の項目には、危機管理室設置の目的と危機管理室の役割を記載すべきと提案され、提案に基づき修正することとされた。地方獣医師会が同様の取組を進めている場合にあっては、情報共有しながら連携して対応することとされた。今後、日本獣医師会においても災害対策等危機管理のガイドラインを早急に示すこととされた。

危機管理室長は日本獣医師会会長が、危機管理統括は動物福祉・愛護担当職域理事がその任に当たることが確認され、その他の室員についても九州から1名追加することとしたうえで異議なく了承された。

第2号議案 賛助会員入会に関する件

境専務理事から資料に基づき説明され、異議なく了承された。

【説明・報告事項】

1 中間監査結果の報告に関する件

監事を代表し、柴山監事から以下のとおり報告された。私たち監事は、令和5年4月1日から令和5年9月30日までの令和5年度上半期終了時における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

(1) 監査の方法及びその内容：各監事は理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会、その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度上半期に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度上半期に係る計算書類について検討をいたしました。

(2) 監査意見：(事業報告等の監査結果)事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。(計算書類の監査結果)計算書類は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上、監査報告です。続きまして、監査意見を述べさせていただきます。

監査意見としては3点です。一つは、事業執行に関して、理事会が責任をもって関与、決定したうえで執

行されるものと承知しております。明確に適切な機関で決定し、決定過程の一層の透明化・可視化をお願いしたい。2点目は、事務処理に関して、職務権限の見直しをし、より権限と責任を分散させて、事務の効率化を進めていただきたい。3点目は、人件費、勤怠状況について、一部、規則改正など、理事会への提案事項もありましたが、残業が常態化していることや人件費の高騰を踏まえ、時間外労働時間の積算を定期的にチェックするなど、今後も引き続き慎重に調査を進めてまいりたいと思います。

2 販売用犬猫に対するマイクロチップの装着・登録に関する件

境専務理事から、環境省、厚労省及び本会が出席して開催された第12回円卓会議の内容が説明された。データベースの一元化や確実な変更登録推進のための方策等について、具体的な案について協議を進めていくことを確認したことが報告された。本会として、①AIPOを今後どのように法定登録と一本化するのか、②情報の精度にばらつきがあるものをどのように整理していくのか、③AIPOで従来行ってきた平時からの獣医師によるデータ検索をどのように今後も維持していくのか、④狂犬病予防法の特例措置について、地方獣医師会による自治体との協働関係を維持し、地域の防疫体制を維持するにはどのような運用体制とすべきか、等について大きな課題があると認識しており、今後理事会における報告、協議を行いつつ対応を進めていくことが確認された。

3 政策提言活動等に関する件

境専務理事から資料に基づき説明された。

4 日本獣医師会ワンヘルスセミナーの開催に関する件

境専務理事から資料に基づき令和6年2月14日に、ワンヘルスセミナー及びワンヘルス推進関係者懇談会が開催される予定である旨説明された。

5 特別委員会及び部会委員会に関する件

ワンヘルス推進検討委員会について草場理事から説明された。続いて部会委員会について境専務理事から全体の運営状況が説明された後、学術・教育・研究委員会について佐藤理事から、小動物臨床部会について森理事か

ら、家畜衛生・公衆衛生委員会について加地理事から、動物福祉・愛護委員会について佐伯理事から、総務委員会について境専務理事から、女性獣医師活躍推進委員会について栗本副会長からそれぞれ説明された。

6 アジア大洋州医師会連合（CMAAO）とアジア獣医師会連合（FAVA）におけるMOUの締結に関する件

境専務理事から資料に基づきアジア大洋州医師会連合（CMAAO）とアジア獣医師会連合（FAVA）とのMOU締結について、11月1日にマレーシアにおいて開催されたFAVA代表者会議において日本獣医師会から提案され、了承されたことから、日本医師会との間で調整を進め、令和6年9月にフィリピンで開催される予定のCMAAO総会において正式に締結する方向で準備を進めることが説明された。

7 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

境専務理事から資料に基づき説明された。続いて地区理事から業務概況が報告された。

8 その他

三重県多度大社における上げ馬神事について、日本獣医師会の見解が求められていることについて、本会または三重県獣医師会がかかわっているものではないこと、神社が主催する伝統行事であることから、個別の内容については言及しないが、必要に応じ動物愛護の理念に基づいた行事を行っていただきたい旨のコメントを今後発表することが確認された。

【連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

境専務理事から、当面の関係会議等の開催日程が説明された。

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

境会計責任者から、関連会議への出席、要請活動等について説明された。

【閉会】

藏内会長から全ての議案が終了した旨報告され、円滑な議事進行への協力にお礼が述べられた後、事務局から閉会が告げられた。